

＼仕事の合間にすぐわかる！／

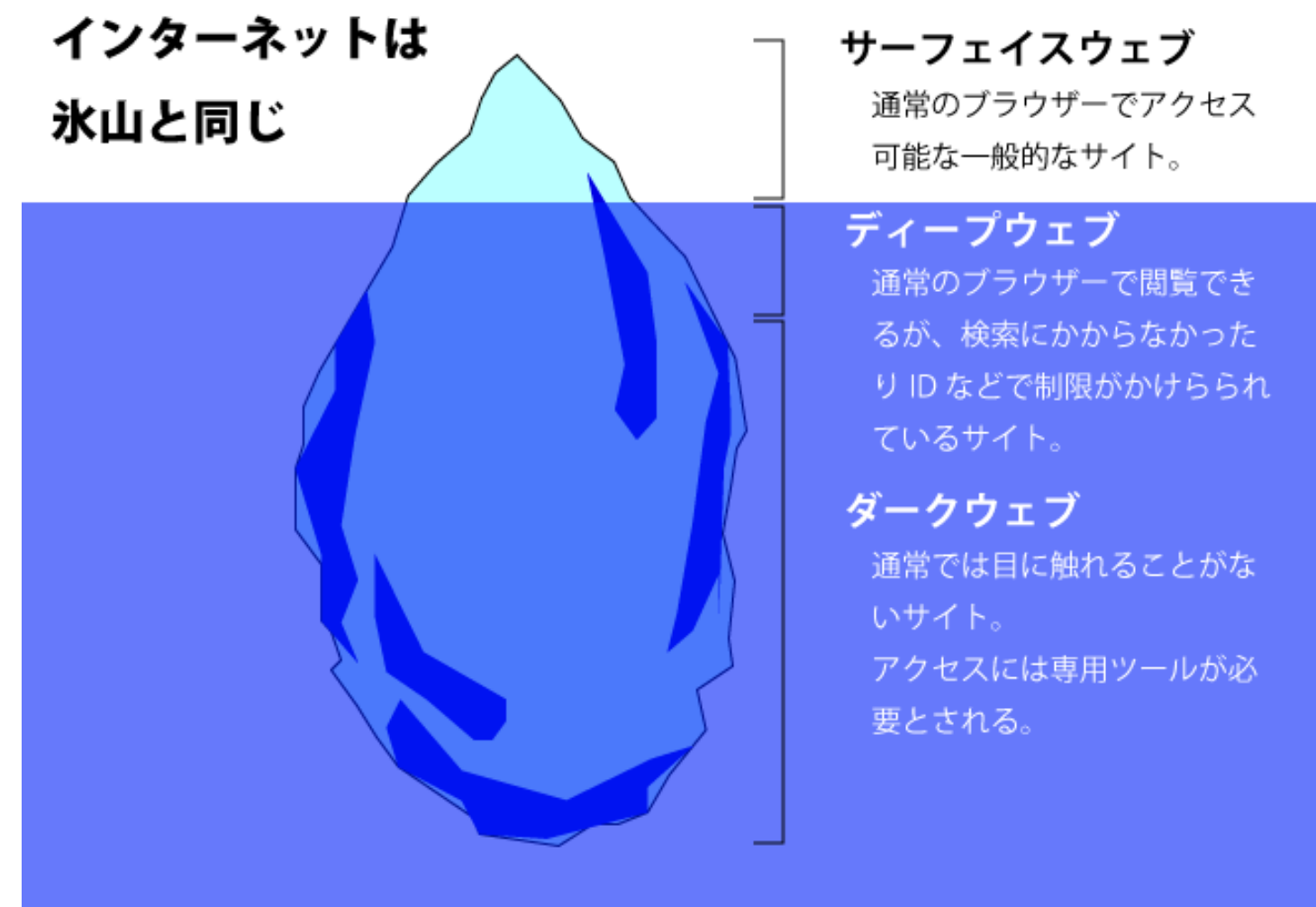
ダークウェブ

ダークウェブとは

インターネットにはダークウェブと呼ばれる領域があります。それは潜在的で通常は目に触れることはありませんが、情報量は顕在サイトをはるかにしのぐといわれています。いわば海面下の氷山のような存在です。

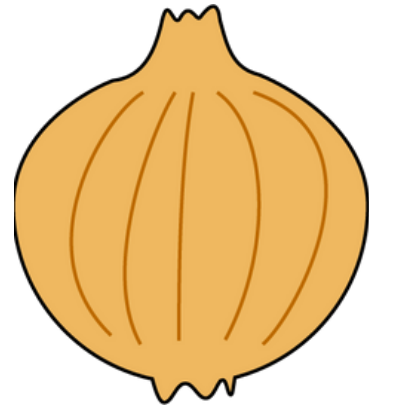
ダークウェブはGoogleなどの検索エンジンで見つけることはできません。またEdgeやChromeといった一般的なブラウザで閲覧することもできません。

仕組み自体は決して違法ではありませんが、犯罪に使われることが多く、非合法の情報や物品が多数やり取りされています。



ダークウェブの匿名性

ダークウェブの本来の目的は、匿名性を確保し通信の秘密を守ることです。その技術をオニオン・ルーティングと呼びます。通信経路を含む情報の暗号化を、オニオン（玉ねぎ）のように階層を重ねることで匿名性を高くしています。これを利用しているのがTor（The Onion Router：トーア）という規格です。



馴染みない世界のようにですが、インターネットを利用している以上、身近な存在でもあります。例えばランサムウェア「Maze」の流行や2020年12月に発生した大規模サイバー攻撃ではダークウェブが利用されたことが分かっています。※

※出典：キャノンMJサイバーセキュリティ情報局「犯罪グループによる、ダークウェブをめぐる事件の実態」

ダークウェブから守る

ダークウェブは、興味本位でアクセスするサイトではありません。しかしその存在を知らないと、なにかの拍子にアクセスしてしまい、犯罪に加担してしまう恐れもあります。

正しい知識を持って対応することが大切です。

一般的にダークウェブへのアクセスには専用のアプリケーションソフトやTorブラウザが必要です。

企業IT担当者の方は、資産管理ツールなどを利用して、自社のクライアントに業務上必要のないアプリがインストールされていないかにご注意ください。